

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	令和3年度 第1回姫路市観光戦略推進会議
2 開催日時	令和3年8月6日（金曜日） 15時00分～16時30分
3 開催場所	姫路市役所本庁舎 10階 第3会議室
4 出席者又は欠席者名	（出席者）姫路市観光戦略推進会議 委員11人 （事務局）観光課、姫路観光コンベンションビューロー
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 傍聴人（3人）
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 市長挨拶 3 委員紹介 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 座長選任 (2) 令和3年度姫路市観光戦略推進会議について (3) 姫路市の観光の現状について (4) 姫路市観光戦略プランの改定について (5) 意見交換「観光客の受入体制の充実」について (6) 意見交換「MICEの推進」について 5 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	議事要点については別紙参照

<p>市長</p>	<p>1 開会（15：00）</p> <p>2 市長挨拶（15：06）</p> <p>3 委員紹介（15：12）</p> <p>4 協議事項（15：14）</p> <p>(1) 座長選任</p>
<p>事務局</p>	<p>【説明】</p> <p>(2) 令和3年度姫路市観光戦略推進会議について</p> <p>(3) 姫路市の観光の現状について</p> <p>(4) 姫路市観光戦略プランの改定について</p>
<p>座長</p>	<p>事務局からの説明に関して、ご質問、ご意見があれば発言をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>会議スケジュールについて、骨子や枠組みを含めどのように考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度中にプランを策定するため、非常にタイトなスケジュールとなっている。 次回会議では、事務局の叩き案となる骨子案をお示ししたい。委員の皆さまには、 新たなテーマなどご意見をいただくことで、良いプランになると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>骨子案や枠組みをゼロから作ることはないが、現行プランの策定時、庁内での課題は何だったのかを明確にする必要があるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>観光は、不自由なものなのか、あるいは自由なものなのか。また、住んでいる人のためにあるのか、あるいはお越しいただく人のためにあるのかなど、各委員の意見をお伺いしたい。例えば、姫路菓子博と B-1 グランプリは、どちらがイベントとして優しいかなど、どのような認識を持っているのか。</p>
<p>座長</p>	<p>優しいか優しくないかという観点では難しいが、B-1 グランプリは、イベントのシステムとしてはよくできていると思われる。</p>
<p>委員</p>	<p>実はそこがポイントだと思っている。B-1 グランプリは、いつでもどこでもできるイ</p>

	<p>ベントである。その街ではないとできないことをやるのかなど、こちらの会議で考察すべきではないか。</p>
座長	<p>ご指摘の点はよく理解する。会議を通じ、普段から観光へ関心をお持ちの委員の皆さんの意見をなるべく反映させたい。</p>
委員	<p>M I C E は、どの街でもでき、姫路でないとできないM I C E はない。 また、固有の価値で、エンターテインメントでもある寺社を整備することが大事ではないか。</p>
座長	<p>非常に限られた時間の中で議論を実りあるものとするため、委員の皆さんの意見を述べていただく場としたい。</p>
事務局	<p>【説明】 (5) 観光客の受入体制の充実 (6) M I C E の推進について</p>
委員	<p>アフターコロナを見据え、短期と中長期的な施策に分けることが望ましいのではないか。その場合、短期的には、マイクロツーリズム、中長期はインバウンドになるのではないか。また、姫路は、滞在型観光が推進されないことが最大の課題である。 その他、大規模イベントに頼るのではなく、アクリエひめじを活用し、長期的、かつ、定期的なイベントを作り上げていくことが重要ではないか。M I C E に関し、アクリエひめじは、地元で愛される施設でないといけないため、地元のファンづくりも視野に入れていく必要があるのではないか。</p>
委員	<p>姫路城を中心に、歴史をテーマとしたプランを策定し、周辺市町を巻き込んだ広域連携を考えなければならない。また、短期的な戦略としては、兵庫デスティネーションキャンペーン（2023年夏期開催）を活用すべきである。M I C E に関しては、医療系の誘致を図るべきではないか</p>
委員	<p>姫路城周辺の店舗は、17時には閉まるなど、夜に滞在してもらおう仕掛けが不足しているのではないか。商店街などで夜に滞在してもらおうエンターテインメントを創出できないか。</p>

委員	<p>アフターコロナに向けて、朝観光も一つの切り口として、商店街の活用が考えられないか。</p>
委員	<p>“城下町姫路”といった面的な戦略を行うことができないか。また、姫路は滞在型観光が少ないので、旅館（1泊8千円程度）を誘致してみてもどうか。MICEに関しては、宿泊をセットにしたモデルプランを作成し、営業してもらいたい。</p>
委員	<p>日帰り圏内である神戸や大阪などをターゲットに定めてはどうか。また、兵庫県外に向けた情報発信も大切であるが、今の時代、県内向けにも力を入れることが有効ではないか。その他、WEB環境の充実が重要であり、自治体でも積極的にデジタルツールの活用が求められている。</p>
委員	<p>これまでパンフレットの作成や案内看板、バリアフリーの整備など、様々な手を尽くしているにも関わらず、観光客が来ない場合、地元の人がどれだけ観光客に対し、親切であるか、また、優しいかにかかっていると思われる。また、近年、世界遺産が増えたことで、そのブランド効果がなくなってきており、対策を講じる必要がある。</p>
委員	<p>姫路での宿泊を伴う周辺地域を含めた戦略プランを策定することが、destinationキャンペーンにも直結すると思われる。また、今の時代、紙媒体のパンフレットなどは、データ（デジタル）に取り込むことが望ましいのではないか。</p>
委員	<p>イベント情報など、市役所と連携して商店街を告知の場として活用してほしい。</p> <p>また、ロケ誘致・支援に関し、有名な番組を呼び込んだ際や呼び込むための戦略があっても良いのではないか。</p>
委員	<p>新聞で取り上げたところ、中高年層を中心に人気がある山城に関し、西播磨県民局では、再発見・再整備している。姫路市は、周辺との連携が乏しく、播磨の中核として戦略を考えていくべきではないか。</p>
委員	<p>姫路市が引っ張って、播磨としての存在感を出せるような戦略を進めるべきではないか。また、デジタル発信はとても重要であるため、単純に発信するだけではない戦略を検討いただきたい。</p>
委員	<p>観光を議論する際には、誰がいつまでに何をやるのかという具体的なものがない。</p>

	<p>その役割を担うのがDMOと思われるため、もう少し戦略の中心にDMOの存在を配し、広域連携8市8町や兵庫県下のDMO、せとうちDMOなどとの連携を組織として行うことが非常に重要ではないか。</p>
委員	<p>昨年兵庫県が主催した観光ガイド育成事業に参加し、たつの市を勉強する機会を得た。県内にはまだ知らないところがたくさんあると感じた。また、メディア発信が重要であると思われる。</p>
委員	<p>周辺の観光プランを作成する際には、交通網についても考えてほしい。</p>
委員	<p>観光事業者の利益を求めるのではなく、我が街が盛り上がるかどうか重要である。</p>
委員	<p>交通網に関し、今年度、姫路観光コンベンションビューローが、国の支援メニューを活用し、周遊バスの実証実験を行う。</p>
委員	<p>最後は、ホスピタリティが大事であると思われる。</p>
委員	<p>本市全体で観光客を迎え入れる体制をつくるには、小中高生など地元の人たちに、自分たちが観光大使であると思わせる教育や意識付けができれば良いと思う。</p> <p>5 閉会（16：30）</p>